

# 平成 24 年度 当初予算編成方針（概要版）

## 1 基本方針

- (1) 総合計画 後期基本計画の戦略プログラムの推進  
選択と集中、自主財源の確保により
- (2) 第 3 次行政改革大綱に掲げる安定的な財政経営の実現  
事務事業評価を活用した自律的で効率的な予算の編成により

## 2 編成方針

一般財源は前年度当初予算程度が見込まれるものの、社会保障費の増加が著しいため、引き続き 義務的経費を除く経常的経費の削減について創意工夫を求める部局別枠配分を設定する

- (1) 経常的経費（一般財源額）
  - ① 節減の努力を求める経費 ⇒ マイナス 10%として枠に反映  
旅費、消耗品、印刷費、コピー代 等
  - ② 部の主管課の一般事務費 ⇒ 要求ベースでマイナス 10~20%
  - ③ 補助金・交付金・負担金 ⇒ 枠内であっても前年度の額以内
  - ④ 残業 0（ゼロ）運動効果 ⇒ 人件費以外の経常的経費枠への振替
- (2) 政策的経費  
戦略プログラム事業 ⇒ 「選択と集中」により優先順位付け
- (3) 自主財源確保
  - ① 市税等の収納率の向上
  - ② 使用料・手数料の自主的見直し
  - ③ 創意工夫による財源の発掘（公共施設の有効活用 等）  
⇒ インセンティブ予算
- (4) その他
  - ① 事務事業評価 ⇒ 評価結果に基づく事業計画（予算要求）
  - ② ゼロ予算事業 ⇒ 効果を検証し、取り組みを継続

## 3 その他

職員の意識改革・能力向上を図り 人材の最大活用による効率的 財政経営へ